

一里野高原ホテルろあん横のグランピング場。結婚式が
挙げられるようになる ー白山市尾添（同ホテル提供）



一里野「恋人の聖地」生かし

白山一里野温泉のホテルが、県内の婚礼関係者でつくる「金澤ウエディング協同組合」（金沢市）と組み、贅沢なキャンプ「グランピング」の婚礼プランを今春から打ち出す。一里野温泉が「恋人の聖地」に認定されているのを生かし、白山麓の豊かな自然の中で愛を誓ってもらう。高級感あふれるキャンプ結婚式で、聖地の発信と山麓への誘客につなげる。

高級キャンプで愛誓う

「グランピングウエディング」と銘打ち、一里野高原ホテルろあん（白山市尾添）に隣接する森の中のグランピング会場「プライベートルフォレスト」が式場となる。

ホテルは2014年にグランピングを取り入れたイベントを初開催した。翌年、宿泊と日帰りのプランを設けてグランピングの客の受け入れを始めた。

ホテルと県内の組合

今春から挙式プラン

期間は5月中旬から11月中旬で、会場には大型テント2基、ソファ、ベッド、ハンモック、水道、電源コンセントなどの設備がそろっている。ホテル内の温泉、トイレが利用可能で、部屋に泊まることもできる。

期間中は5月中旬から11月中旬で、会場には大型テント2基、ソファ、ベッド、ハンモック、水道、電源コンセントなどの設備がそろっている。ホテル内の温泉、トイレが利用可能で、部屋に泊まることもできる。

希望者に提供するコース料理には、グッチオープンを使ったイノシシ肉入りパエリアや白山麓産ニジマスのホイル焼き、無農薬野菜のサラダなどがある。

全国からグランピングの客が訪れ、利用者は15年が176人、16年が359人、17年が578人と年々増加している。昨春から「グランピングで式を挙げたい」と問い合わせが入るようになり、ホテルは需要が見込めると金澤ウエディング協同組合に協力を呼び掛けた。

挙式では、同組合がプランニングや衣装のレンタル、新郎新婦の支度、写真撮影などを担う。

「グランピング（魅力的な）」と「キャンプ（キャンプ）」を組み合わせた造語。屋外に設置されたテントで、ホテルに劣らないサービスを受けながら快適な環境で自然を楽しむ。テント設置などの準備の手間が省け、キャンプ初心者にも親しみやすい。世界的に注目され、国内でも人気が高まっているという。



「グランピング（魅力的な）」と「キャンプ（キャンプ）」を組み合わせた造語。屋外に設置されたテントで、ホテルに劣らないサービスを受けながら快適な環境で自然を楽しむ。テント設置などの準備の手間が省け、キャンプ初心者にも親しみやすい。世界的に注目され、国内でも人気が高まっているという。

ホテルは組合とモデルプラン作りを進め、5月初めをめどに専用ウェブサイトを開設する。山崎太一朗社長(47)は「食材の持ち込みも可能な珍しい式になると思う。多くのカップルに特別な日を一里野で過ごしてもらい、恋人の聖地の魅力を高めたい」と話した。